

<b>科目名</b> 精神看護援助論Ⅱ	<b>授業担当者</b> 渡部 暢子 小田嶋 陽子	<b>所属</b> 中通高等看護学院 中通高等看護学院	
<b>開講時期</b> : 中期～後期	<b>単位数</b> : 1 単位	<b>時間数</b> : 15 時間	
<b>授業の目的</b> 精神看護実践の基本となるコミュニケーション技法について考察し、精神科における看護アセスメントの仕方やレクリエーションの意義について学ぶ。			
<b>授業の概要</b> これまで学んできた精神看護学を基盤に、看護実践について学ぶ場としたい。そこで、精神看護学実習で活用することを前提に、看護アセスメントの仕方、プロセスレコード記載の演習を行う。また、治療的レクリエーションの意義を学び、そこで果たすべき看護の役割を学ぶ。			
<b>受講上の注意・事前学習の内容</b> 精神看護学実習を前提とした演習やワークが中心の内容となる。より主体的に課題に取り組んでほしい。			
<b>授業回数</b>	<b>学習内容</b>	<b>方法</b>	<b>備考</b>
1	プロセスレコード意義	講義	
2	ロールプレイからプロセスレコードを記載	演習	
3	プロセスレコードを用いてグループでカンファレンス	グループワーク	
4	精神科における看護アセスメントについて	講義	
5	事例ペーパーシミュレーション	個人ワーク	
6	患者紹介プレゼンテーション①	グループワーク	
7	精神科におけるリハビリテーション・レクリエーションの意義	講義	
8	患者紹介プレゼンテーション②	グループワーク	
<b>テキスト</b> 系統看護学講座 専門 精神看護の展開 医学書院			
<b>参考書・指定図書</b> 系統看護学講座 専門 精神看護の基礎 医学書院			
<b>評価の方法</b> 演習の提出物、授業態度・出席状況などを統合して評価する。			

\*この科目は実務経験のある教員による科目となります